

国名(日本語)	<b>カナダ</b>
国名(英語)	<b>Canada</b>



国名の由来	16世紀に探検隊が先住民から聞いた「村」「村落」などを意味する言葉「カナカ」が元となり、18世紀初めには現在のアメリカ中西部全土をさすようになった。15世紀末までは、アメリカ・インディアンが部族ごとに住む地だった。16世紀にフランスとイギリスが植民地を開き、その後両国の争奪地となった。1763年にイギリスが支配権を確立し、1867年に南東部の4州からなる連邦政府が成立した。
国旗の由来	両側の赤い帯は北アメリカ大陸をはさむ太平洋と大西洋。中央のメイプルリーフ(カエデ)はカナダの象徴で、赤と白は1921年に指定された国の色。葉の先端の尖った部分と葉柄を合わせた12の数は、国を構成する10州と2準州(現3準州)を表している。
1 面積	998.5万平方キロメートル(世界第2位、日本の約27倍)
2 人口	約3,616万人(2016年4月カナダ統計局推計)
3 首都	オタワ
4 言語	英語、仏語が公用語
5 宗教	ローマン・カトリック(カナダ国民の約半分近く)
6 豆知識	最も盛んなスポーツとしてアイスホッケーが挙げられる。アメリカ合衆国も参加するNHL(ナショナル・ホッケー・リーグ)は、1917年カナダで設立された。